



防災だより

(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



台風に備えて

8月是一年の中でも台風の発生数が最も多い月です。1991年から2020年の30年の平均では、年間25.1個の台風が発生し、8月が5.7個、9月が5.0個の発生となっています。また、日本への接近数においては、8・9月ともに3.3個、日本への上陸数は8月が0.9個、9月は1.0個となっています。今年は7月25日時点で台風の発生は5個と平均と比べ少ないですが、同じように7月までに発生数が少なかった2016年は8月に7個、2020年は8個発生しており、今年も台風の発生に注意が必要です。

台風は、暴風や大雨、高波・高潮による被害をもたらしますが、事前の準備により被害を抑えることができますので、日頃から気象情報に注意し、事前の準備・対策を行いましょう。



家の外の備え



大雨が降る前、風が強くなる前に対策を行ってください。

- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定するか、家の中に入れておきましょう。
- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強しておきましょう。

家の中の備え

- 雨戸が無い窓ガラスには、飛散防止フィルムを貼ったり、カーテンやブラインドを閉めたりするなどし、飛来物に備えましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯用ラジオを準備し予備の乾電池を準備しておきましょう。
- 非常用持出袋の準備、確認をしておきましょう。



地震に備えましょう!

補助金
紹介

家具転倒防止等対策費補助金に

感震ブレーカーの購入・設置に係る補助金

を追加しました!

対象者 愛南町に居住している方 ※1世帯につき1回まで

補助対象経費 感震ブレーカーの購入・設置に要する費用

補助金額 全額(限度額 10,000円) ※100円未満切捨て

申請先 消防本部防災対策課、本庁総務課、各支所

※購入後に補助金交付申請が可能です!

※既に家具転倒防止用品で補助を受けている方でも申請が可能です!

※地区代表者が地区の設置をとりまとめて、一括で申請・請求することも可能です!

申請に必要な書類

- 愛南町家具転倒防止等対策費補助金交付申請書兼請求書
- 町税等の滞納がない旨の申出書
- 購入した感震ブレーカーの内訳が確認できる領収書
- 購入した感震ブレーカーの写真
- 印鑑
- 口座番号が確認できるもの(通帳など)

感震ブレーカーとは?

地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

なお、揺れを感知したら電気が即遮断されますので、停電対策もしておきましょう。

感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

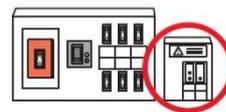
約5万円～(※要電気工事)



分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

約2万円～(※要電気工事)



コンセントタイプ

内蔵されたセンサーが揺れを感知し、個別のコンセントの電気を遮断します。電熱器具を接続する箇所への設置が適しています。

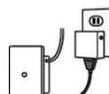
約5千円～

(埋込型)
壁面などに取り付け



※要電気工事

(タップ型)
既存のコンセントに
差し込んで使用



※電気工事不要

簡易タイプ

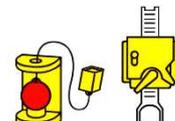
「おもり玉式」:一定の震度により「おもり玉」が落下することでブレーカーを遮断するもの

「バネ式」:揺れを内部センサーが感知し、ばねが作動してブレーカーを切るもの

「電池式」:揺れを内部センサーが感知し、マイコンに信号を送りブレーカーを切るもの

いずれもホームセンター等で購入が可能です。

約2千円～(電気工事不要)



【お問合せ先】防災対策課 TEL:0895-72-0131